

令和2年度 シラバス

科目名	保健医療福祉制度論	講義	(30)時間	前期	第Ⅱ学科3学年	講師	中野 友喜
到達目標	保健医療福祉概制度を学ぶ事により、医療者として社会的サポートの情報提供が出来るようになる。						
履修上の注意	制度の成り立ちから制度の意味合いを考える事						
成績評価方法	学科試験(100%)						
教科書	系統看護学講座 社会保障・社会福祉						
参考書							

週 数	項 目	授業内容
第1週目	社会保険制度と社会福祉	社会保障の概念、社会保障の体系
第2週目	社会保険制度と社会福祉	社会福祉と福祉6法
第3週目	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	現代社会の変化、地域社会の変化
第4週目	医療保障	医療保障制度の沿革、医療保障制度の構造と体系
第5週目	介護保障	介護保険制度創設の背景、介護補円制度の概要
第6週目	所得保障	所得保障制度の仕組みとその役割、年金保険制度
第7週目	公的扶助	貧困、低所得問題と公的扶助制度
第8週目	社会福祉の分野とサービス	高齢者福祉
第9週目	社会福祉の分野とサービス	障害者福祉、ノーマライゼーション
第10週目	社会福祉の分野とサービス	児童家庭福祉
第11週目	社会福祉実践と医療・看護	グループワーク
第12週目	社会福祉実践と医療・看護	グループワーク
第13週目	社会福祉の歴史	現代社会への変化
第14週目	社会福祉の事例紹介	グループワーク
第15週目	社会福祉の事例紹介	グループワーク
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	理学療法評価学演習	演習	(30)時間	前期	第Ⅱ学科3学年	講師	久保 けい子 専任教員
実務経験	久保教員：理学療法士として12年以上の実務経験あり 専任教員：理学療法士として5年以上の実務経験あり						
到達目標	臨床評価実習、臨床総合実習に向け、理学療法プロセスの理解・内容の理解を深める。						
履修上の注意	私語は控える。主体的に参加すること。						
成績評価方法	症例発表・確認試験・実技試験						
教科書	臨床技能とOSCE						
参考書	都度、紹介する。						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	症例報告会	症例報告を介して、グループにて検討。
第2週目	症例報告会	症例報告を介して、グループにて検討。
第3週目	症例報告会	症例報告を介して、グループにて検討。
第4週目	症例レポートまとめ	問題点抽出 (ICIDH・ICF)
第5週目	症例レポートまとめ	目標設定について
第6週目	症例レポートまとめ	治療プログラムの立案について
第7週目	症例レポートまとめ	治療プログラムの実施内容について
第8週目	動作分析	起居動作の評価
第9週目	動作分析	起居動作の評価
第10週目	歩行分析	歩行の評価
第11週目	歩行分析	歩行の評価
第12週目	ケーススタディ	中枢疾患のケーススタディ
第13週目	ケーススタディ	骨関節疾患のケーススタディ
第14週目	実技試験	OSCE形式で実施
第15週目	実技試験	OSCE形式で実施
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	スポーツ障害理学療法学	演習	(30)時間	後期	第Ⅱ学科3学年	講師	門脇 辰弥
実務経験	理学療法士として8年以上の実務経験あり						
到達目標	スポーツ理学療法の概要を理解し、代表的なスポーツ外傷・障害とその理学療法を学習する。						
履修上の注意	居眠りをしないこと						
成績評価方法	学科試験、中間試験、出席状況						
教科書	スポーツ理学療法学(メジカルビュー社)						
参考書	PTマニュアル スポーツ理学療法 (医歯薬出版株式会社)						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	スポーツ理学療法とは スポーツ外傷・障害の概念	スポーツ理学療法の内容・活動分野、スポーツ外傷と障害の違い、 外傷の特徴、発生機序など
第2週目	リハビリテーションの基礎知識	スポーツ外傷・障害の多発部位や身体に与える影響など、外傷・障害 の基礎知識やRICE処置
第3週目	測定・評価・治療	評価・治療を行うための戦略・治療プロセス～形態測定
第4週目	測定・評価・治療	疼痛・アライメント・関節可動域
第5週目	測定・評価・治療	筋力・テーピング・スポーツマッサージ
第6週目	スポーツ理学療法各論	頸椎・肩関節
第7週目	スポーツ理学療法各論	肘関節・手関節・手指
第8週目	スポーツ理学療法各論	腰椎
第9週目	スポーツ理学療法各論	骨盤・股関節
第10週目	スポーツ理学療法各論	膝関節
第11週目	スポーツ理学療法各論	下腿・足部
第12週目	スポーツ理学療法各論	内科的障害
第13週目	スポーツ理学療法各論	投球動作とは
第14週目	国家試験問題	国家試験問題
第15週目	まとめ	定期試験前の復習および確認
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	国家試験対策総合演習 I	演習	(60)時間	後期	第Ⅱ学科3学年	講師	橋本 貴之
実務経験	理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	国家試験に向けて知識を深める。						
履修上の注意	問題自体を覚えるのではなく、問題の中身について位階するように努める						
成績評価方法	国家試験形式で筆記試験を実施する。						
教科書	国試の達人						
参考書	必要に応じてその都度紹介						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	国家試験対策	共通問題
第2週目	国家試験対策	共通問題
第3週目	国家試験対策	共通問題
第4週目	国家試験対策	共通問題
第5週目	国家試験対策	共通問題
第6週目	国家試験対策	共通問題
第7週目	国家試験対策	共通問題
第8週目	国家試験対策	共通問題
第9週目	国家試験対策	共通問題
第10週目	国家試験対策	共通問題
第11週目	国家試験対策	共通問題
第12週目	国家試験対策	共通問題
第13週目	国家試験対策	共通問題
第14週目	国家試験対策	共通問題
第15週目	国家試験対策	共通問題
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	国家試験対策総合演習Ⅱ	演習	(60)時間	後期	第Ⅱ学科3学年	講師	橋本 貴之
実務経験	理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	国家試験に向けて知識を深める。						
履修上の注意	問題自体を覚えるのではなく、問題の中身について位階するように努める						
成績評価方法	国家試験形式で筆記試験を実施する。						
教科書	国試の達人						
参考書	必要に応じてその都度紹介						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第2週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第3週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第4週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第5週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第6週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第7週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第8週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第9週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第10週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第11週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第12週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第13週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第14週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第15週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	理学療法学研究論	演習	(60)時間	前期	第Ⅱ学科3学年	講師	久保 けい子 専任教員
実務経験	久保教員:理学療法士として12年以上の実務経験あり 専任教員:理学療法士として5年以上の実務経験あり						
到達目標	理学療法における基礎研究の目的・意義を理解する						
履修上の注意	課題の提出期限遵守すること						
成績評価方法	講義態度 出席状況 提出課題 研究発表						
教科書	理学療法研究法 医学書院						
参考書	特になし						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	研究計画	研究計画書作成(目的)①
第2週目	研究計画	研究計画書作成(目的)②
第3週目	研究計画	研究計画書作成(目的)③
第4週目	文献収集	文献検索と文献収集
第5週目	文献抄読	収集文献抄読
第6週目	文献読解	収集文献読解
第7週目	研究論文作成	「はじめに」作成
第8週目	研究論文作成	「要旨」作成
第9週目	研究論文作成	「要旨」作成
第10週目	研究論文作成	本文作成
第11週目	研究論文作成	本文作成
第12週目	発表資料作成	パワーポイント作成
第13週目	発表原稿作成	原稿構成作成
第14週目	研究発表	個人発表
第15週目	研究発表	個人発表
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	生活環境学	講義	(30)時間	前期	第Ⅱ学科3学年	講師	吉田 弘利
実務経験	理学療法士として10年以上の実務経験あり						
到達目標	理学療法士に必要な環境整備の知識を習得する。						
履修上の注意	出席点を重視します。(欠席につき-10点)						
成績評価方法	本試験(50%)+[提出物、小テスト、出席、授業姿勢](50%)						
教科書	生活環境学テキスト						
参考書	プリント配布						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	第1章	生活環境学の考え方
第2週目	第2章	日本における生活環境の特徴と課題
第3週目	第3章	生活環境整備に関する法的制度
第4週目	第4章	生活環境整備の進め方
第5週目	第5章	生活環境整備の基本①
第6週目	第6章	生活環境整備の基本②
第7週目	第7章	玄関・アプローチの環境整備
第8週目	第8章	廊下・階段の環境整備
第9週目	第9章	トイレの環境整備
第10週目	第10章	浴室・脱衣室の環境整備
第11週目	第11章	台所・食堂の環境整備
第12週目	第12章	居間・寝室の環境整備
第13週目	第13章	疾患別環境整備①
第14週目	第14章	疾患別環境整備②
第15週目	第15章	基本的な建築図面の読み方・書き方
備考	講義の内容は、学習状況によって変更します。	

令和2年度 シラバス

科目名	地域理学療法学	講義	(30)時間	後期	第Ⅱ学科3学年	講師	橋本 貴之
実務経験	理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	移り行く現代社会に適応できる地域理学療法学としての幅広い知識を学び・地域の対象者に、アイデアを						
履修上の注意	講義を聴く受動的な授業方針にならないようにする。能動的で自主性に富んだ授業をめざす。						
成績評価方法	最終15週目に試験(100点)						
教科書	CrossLink 地域理学療法学						
参考書	随時紹介する						

週数	項目	授業内容
第1週	地域理学療法学の概念	教科書に基づき、地域への理解を動画・発表を通して学びを深める
第2週	地域における理学療法士の役割	理学療法士のできることを、(多職種連携の理解)の目線より学ぶ
第3週	介護保険制度における地域理学療法学①	訪問リハビリテーションについて動画・発表を通して学びを深める
第4週	介護保険制度における地域理学療法学②	通所リハビリテーションについて動画・発表を通して学びを深める
第5週	疾患と障害の理解①	小児期・成人期・老年期の生活の理解を学ぶ
第6週	疾患と障害の理解②	神経難病・パーキンソン病・ALSの生活の理解を学ぶ
第7週	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムについて動画・発表を通して学びを深める
第8週	地域づくりの技術	制度・ケアプラン・介護者支援技術の習得について学ぶ
第9週	前半の振り返り	前半のまとめと習熟度の確認
第10週	個別支援の技術①	日常生活活動の評価(FIM・BI・ICF)・行動変容について
第11週	個別支援の技術②	福祉腰部の利用と住環境の整備について学ぶ
第12週	事例検討・演習①	施設・在宅生活者を対象としたケーススタディを講義と実技を行う。
第13週	事例検討・演習②	脳性麻痺・片麻痺 ケーススタディを通じて講義と実技を行う。
第14週	事例検討・演習③	介護支援事業所のケーススタディを通じて講義と実技を行う。
第15週	まとめ	地域づくりの観点・地域へのアプローチを学ぶ
備考		